

宝の都(くに)・おおさき 未来予想図

～ずっとおおさき・いつかはおおさき～

合併から12年が経過した本市では、宝の都(くに)・おおさきの実現に向けて、新たな事業が動き出しています。このコーナーでは、市役所本庁舎・鳴子総合支所庁舎・田尻総合支所庁舎の建設整備の進行状況や、中心市街地のまちづくりに関する事業の進捗状況を発信します。

vol.6 子育て支援拠点施設の整備概要

☎ 子育て支援課児童福祉係 ☎23-6045



子育て支援拠点施設は、子どもが遊びを通じて学び合う場や、安心して子育てができるよう保護者を支援する施設として、平成31年秋の完成をめざし、旧大崎市民病院本院跡地に整備しています。

施設は、現在リオネふるかわ内にある「子育てわくわくランド」と、古川前田町にある「古川中央児童館」の2つの機能を合わせ持つ施設です。複合施設とすることで、より多くの子どもが、園庭や広々とした屋内で遊ぶことができ、家庭や学校以外の第三の居場所として、交流を深めることが期待されます。

また、施設内には、保護者同士が交流・情報交換を行える場や、子育て支援団体やサークルが集う場など、地域全体で子育てを支えるような空間も整備し、親子が笑顔で過ごせる施設をめざします。

複合施設の内容

- ▶ 子育て支援センター(子育てわくわくランド)
育児不安の相談・指導、親子の交流促進、子育てサークルなどの支援、育児講座、ファミリーサポートセンター事業など
- ▶ 児童センター
18歳未満の児童に健全な遊びの場を提供、子育て家庭の支援、地域交流の促進、放課後児童クラブなど

11月号の主な内容

- 4 大崎耕土が生む“ささ伝説”
- 6 わがまち企業訪問 特別編
- 7 地域づくりファイル
B 三本木地域 三本木まちづくり協議会
- 8 市政トピックス 10月の主な出来事
- 9 地域発！お・ら・ほ・の・ま・ち
- 10 オオサキプレイガイド
- 12 今月のお知らせ
障がい者を対象とした職員を募集します
ほか
- 26 子育て支援情報
- 27 育児相談・乳幼児健診
- 28 休日当番医 ほか

10月1日現在の大崎市の人口 (単位:人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	38,116	- 26	39,562	- 23	77,678	- 49	31,400
松山	2,926	- 6	3,077	- 3	6,003	- 9	2,198
三本木	3,916	- 12	3,962	- 4	7,878	- 16	2,693
鹿島台	5,761	- 15	6,130	- 8	11,891	- 23	4,542
岩出山	5,257	- 4	5,506	- 10	10,763	- 14	4,185
鳴子温泉	2,892	- 7	3,184	- 12	6,076	- 19	2,729
田尻	5,379	0	5,517	- 10	10,896	- 10	3,610
市全体	64,247	- 70	66,938	- 70	131,185	- 140	51,357

☎ 市政情報課統計担当 ☎23-5091

交通死亡事故件数

(10月15日現在・右欄は前年比)

発生件数	4件	0
死亡者数	4人	0

火災発生件数

(9月末日現在・右欄は前年比)

建物火災	16件	+ 1
林野火災	1件	+ 1
車両火災	3件	- 2
その他火災	5件	0
合計	25件	0

空間放射線量の測定結果

(単位:マイクロシーベルト/h)

10月18日測定	地表面から1m	地表面から0.5m
市役所第2駐車場	0.05	0.05
松山総合支所	0.04	0.04
三本木総合支所	0.05	0.05
鹿島台総合支所	0.04	0.04
岩出山総合支所	0.05	0.05
鳴子総合支所	0.05	0.05
田尻総合支所	0.05	0.05

☎ 防災安全課 消防担当・交通防犯担当 ☎23-5144

今月の納税

納期限: 11月30日(金)
※市から送付する納付書や口座振替を利用している人の納期限です。口座振替を利用している人は、記帳にて残高と振替結果を確認してください。

軽自動車税	—
固定資産税・都市計画税	—
市県民税	—
国民健康保険税	第7期
介護保険料	第7期
後期高齢者医療保険料	第5期
個人事業税	第2期

☎ 納税課収納担当 ☎23-5148

ピタ崎さんの観光ひとくちメモ

その28

我が家でおもてなし

☎ 観光交流課 ☎23-7097

市では、関東や関西からの修学旅行生や外国人学生を、旅館やホテル以外に、自宅にも迎え入れていよう。市内の個人宅に泊まりながら、都会ではなかなか体験できない田植えや稲刈りといった農作業体験や、世界農業遺産に認定された大崎耕土の自然・文化の魅力を身近に体験してもらっているんだ。

宿泊者のみならず、自分のお家で家庭料理を作ると、より交流が深まったり、大崎の魅力もたくさん伝えることができるよ。まさに、真のおもてなしだね！

宿泊者が、宿泊先の家族に、また会いたいと感じてくると、大崎へのリピーターにもなるはず。

今年からは、学生に限らず、一般の旅行者をお家に受け入れることができる新しい制度が始まったよ。旅行者と交流を深めたい人や受け入れに興味のある人は、19ページのお知らせも見てみてね！

今月の表紙

10月15日、大貫幼稚園でサツマイモ掘りが行われました。地元老人会の皆さんの協力で、5月に園内の畑に苗植えをしたサツマイモは順調に育ち、収穫を迎えました。

この日は、田尻子育て支援センターを利用する親子7組も参加して、とてもにぎやかに芋掘りを楽しんでいました。先生のかげ声に合わせて、園児たちみんなで力を合わせてイモのつるを引っ張りました。



土を掘り分けてサツマイモが顔をのぞかせると、上手に掘り起こし両手いっぱい抱えて喜んでいました。

収穫したサツマイモは、園の収穫祭で、豚汁に入れておいしく味わいました。

市長コラム

天地人

映画「大地の侍」よみがえる

先月13日、旧有備館及び庭園で「大地の侍」の映画会がありました。

戊辰戦争で官軍に敗れた仙台藩一門・岩出山伊達家は、1万4千石あった禄高を65石に減封されたうえ、城は召し上げられ、家臣の身分はく奪されました。侍ではなくなった家臣たちと新生の地を求めて、北海道開拓に挑んだ伊達邦直公主従の困難な道のりを描いた、当別町出身の作家 本庄陸男の小説『石狩川』が映画化されたのが「大地の侍」です。

「大地」とは農家のこと。「侍」とは正反對ですが、刀を鍔に持ち替え、このアンマッチな2つが一つになった開拓史の映画です。

1956年(昭和31年)東映が制作しました。旧岩出山町時代に何度か上映会が開かれていましたが、フィルム劣化などにより、お蔵入りしていました。戊辰戦争150年の節目の今年、フィルムをデジタル化したDVDが完成し、久しぶりにお披露目されました。

朝敵の汚名を受け、苦難を乗り越え、大地に根を張って北海道開拓を成し遂げた功績によって、明治政府は邦直公に男爵を授けられ、華族に列しました。邦直公は今、北海道当別町に鎮座する祭神として祀られています。

邦直公主従により、北海道で最も豊かな農村に拓かれた当別町は、伊達家をゆかりとして本市と姉妹都市協定を結んでおり、再来年、誕生150年を迎えます。

市民の皆さんも、ぜひ、当別町に足を運び、歴史を学び、ふるさとの創生にまい進してまいります！



大崎市長 伊藤康志